

亀岡駅南周辺地区まちなみ・まちづくり構想【概要版】

● 構想の策定趣旨

亀岡駅南周辺地区は、JR 亀岡駅の南側を中心とした亀岡駅エントランスエリアと、鉾に代表される地域の歴史・文化が数多く残されている城下町エリアで構成されていますが、人口減少・少子高齢化、亀岡祭山鉾行事の担い手不足、駅前通りの青空駐車場等による活気の低下、宅地開発等によって城下町の風情が薄れつつあることなどが課題となっています。

そのようななか、平成 29 (2017) 年度の亀岡まるごとガーデン・ミュージアム構想の策定、令和 2 (2020) 年の本市ゆかりの明智光秀公を主人公とする大河ドラマ『麒麟がくる』の放映など、当該エリアのまちづくりに対する機運が高まっていることから、本市の顔となる拠点づくりや歴史的資産の保全活用に一体的に取り組む「亀岡駅南周辺地区まちなみ・まちづくり構想」を策定しました。



駅から城址方面をのぞむ



南郷公園



山鉾行事



歴史的な町並み

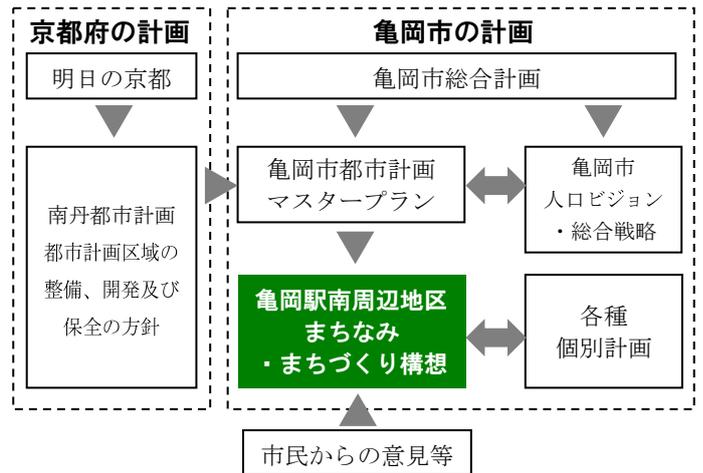
● 構想の位置付け

本構想の計画期間は、概ね 10 年先の都市の展望を見据えたまちづくりとします。「亀岡市都市計画マスタープラン」の具体的な方策に位置付けられるものとして、上位計画との整合や関連する分野の計画との連携を図ります。

意見交換会における参加者からの意見やパブリックコメントによる市民意見を踏まえながら策定しました。

● 対象区域

JR 亀岡駅の駅前から、南側に広がる（城下町一帯を含む）約 110ha の区域。



● 亀岡駅南周辺地区まちなみ・まちづくり構想の基本方針及びエリア別の方針

亀岡駅南周辺地区まちなみ・まちづくり構想の基本方針

- まちなかに人が溢れ活気のあるまちづくり
- 永い歴史と伝統を持つ「亀岡祭山鉾行事」と地域の貴重な歴史的資産を後世につなぐまちづくり
- 生活と観光のバランスに留意し、地域への愛着と誇りを高めるまちづくり
- 地域のみなさんとともに進めるまちづくり

エリア別の方針

● 亀岡駅エントランスエリア

>> 亀岡駅前から城下町エリアをつなぐエリアとして活気のある中心市街地を目指します

● 城下町エリア

>> 歴史的資産を継承しながら生活と観光の共存するまちづくりを目指します

● 基本方針を実現するための施策

亀岡駅エントランスエリア

1) 亀岡駅南 駅前広場の機能性の向上

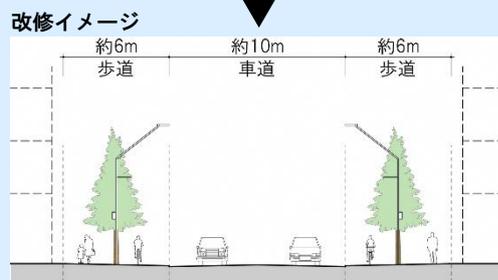
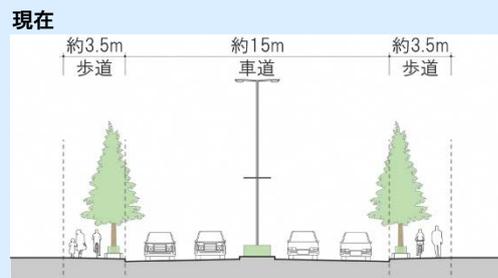
現在の駅前ロータリーは、ラッシュ時にはバス・自家用車等が混雑する状況がみられます。

駅周辺道路を含めた交通体系の見直しや、駅前ロータリーの改修等によって、自家用車とバスの混雑状況を改善し、利用者の便益向上を検討します。

2) 亀岡駅南 駅前通り・エントランスエリア全体のにぎわい創出

駅前通りは、駅から城下町エリアへとつながるシンボルロードとして改修を行い、亀岡市の玄関口にふさわしい街路景観づくりを検討します。

また、改修を通してにぎわいのあるまちづくりとエリア全体の回遊性の向上を図り、駅前通りに隣接する民有地等、エリア内の土地活用を促します。これらを官民一体となって進め、活気とにぎわい溢れるエントランスエリアを目指します。



駅前通りの中央帯撤去と道路空間上空の電線類を地中化し、駅前通りから城址方面への通景（ビスタ）の確保と歩道の拡幅を行います。

拡幅した歩行者空間では、朝市やマルシェの開催等、市民を中心にまちを楽しく使う取り組みや道路空間全幅を使ったイベント活用も考えられます。

沿道の建物低層部には物販・飲食系の店舗が入ることで、朝市やマルシェ等と合わせて、歩行者空間と民有地が一体となったにぎわいの創出が可能となり、周辺へのにぎわいの波及効果等が期待できます。

3) 南郷公園・南郷池沿いの遊歩道の改修

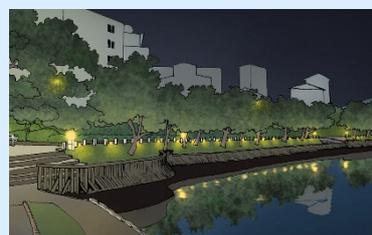
南郷公園・南郷池は、桜のお花見や夏季のイベント会場等、多くの市民が利用し親しまれている場所です。駅前と城下町をつなぐ動線ネットワーク上重要な場所ともいえます。

南郷公園では経年劣化した舗装を芝生へ変更するなどの改修を行い、多目的利用ができて利用者に一層親しまれる空間づくりを検討します。南郷池沿いの遊歩道では、低木類を地被類にすることで池への視認性を高めるとともに、足元灯等を設置し、夜間の安全性向上も目指します。

4) エントランスエリアと城下町エリアをつなぐ歩行者空間の強化

エントランスエリアと城下町エリアをつなぐ重要な動線であるクニッテルフェルド通等東西に延びる通りは、歩道舗装改良や植栽樹の改修により、歩きやすい空間づくりを目指します。

また、舗装材については駅前通りの改修と連動し、統一感のある仕様となるよう検討します。



城下町エリア

5) 歴史的資産や文化的資産の保全・活用

城下町エリアには山鉾に代表される地域の歴史・文化が数多く残されており、代表的な歴史的資産・文化的資産として、町割、惣構、町家、寺社、山鉾行事、鉾蔵等が挙げられます。これらの資産を後世に継承するため、市民のみなさんの意向を踏まえながら、面的な保全・活用をする方策（伝統的建造物群保存地区の指定や歴史まちづくり法の活用）等について検討します。



寺社(正誓寺/矢田町)

<電線類地中化の検討>

城下町エリアの良好な都市景観等を創出するため、電線類地中化を検討していきます。実現には費用と時間がかかるなど課題も多く、地域にふさわしい事業手法について検討を進めます。



惣構(矢田町)

<道路改修>

平成6(1994)年から街路の上質化が行われましたが、一部舗装は経年の車両通行に伴う劣化が発生しているため、適宜改修を図ります。

●伝統的建造物群保存地区とは

文化財保護法に基づき歴史的な集落・町並みを保存するため、都市計画または条例で定める地区のことです。国にとって価値が高いと判断されたものは重要伝統的建造物群保存地区(重伝建)に選定されます。重伝建に選定されると、地区内の建物の修理・修景に際して、国からの補助を受けることができます。



他都市の事例(重伝建)
兵庫県丹波篠山市篠山
商家町エリア

出典:丹波篠山市電線地中化整備イメージ

●歴史まちづくり法とは

地域の歴史的建造物や伝統的な人々の活動からなる歴史的風致を守るため、市町村が作成した歴史的風致維持向上計画を国が認定することで、法律上の特例や各種事業により市町村の歴史・文化を活かしたまちづくりを支援するものです。

6) 地域資源を観光資源へ利活用

地域資源を新たに観光資源へと利活用することを検討していきます。そのなかでも、文化資料館や亀山城址等について、関連する計画や所有者と連携し、一層の利活用を図ります。



文化資料館

7) 憩い・休憩場所の強化

<簡易児童遊園の改修>

多目的に使用できる便益性の高い場所とすることで、憩いや活動の場所として利用されることが期待できます。



簡易児童遊園の
改修イメージ

<空き地等の利活用>

空き地や駐車場を利活用し、市民の憩いの場所となるよう検討します。

憩いの場所は、市民のみならず来訪者(観光客)のまちあるき等の際の休憩場所など、全ての人が利用できる居心地の良い場所になると考えられます。



駐車場の利活用
(他都市の事例)

わいわいコンテナ © WORKVISIONS

駅南周辺地区全体

8) 空き家・町家の利活用

住み手のいない空き家や歴史的な町並みを構成する町家等を利活用し、活気あるまちづくりや歴史的な町並みを後世に継承する仕組みづくり等を検討していきます。空き家・町家等の利活用の増加を目指すとともに、町家等の持主・利用者が気軽に相談・情報共有できる場所づくりや、課題等の解決・支援を通して町家等を維持・保全する仕組みづくりを検討します。



本町・町家カフェ(本町)

9) 来訪（観光）のしやすさの強化・モビリティの強化

交通ネットワークやモビリティの強化によって、来訪者（観光客）の回遊性向上を図ります。具体的には、駐車場・駐輪場の整備、周辺観光地と連携したバスルートの検討、レンタサイクル等の強化・構築等が挙げられます。

また、周辺観光地を訪れる来訪者（観光客）を駅南周辺地区に誘導する取り組みの強化等を検討します。前述の歴史的資産等の保全・活用と連携した取り組みや、周辺都市と連携した取り組みも考えられます。



かめまる観光レンタサイクル
出典：亀岡市ホームページ

10) まちなみ・まちづくりの関心を高める取組・活動

行政・市民等、様々な主体が一体となって魅力的な駅南周辺地区の実現を図っていくことを目指して、まちなみ・まちづくりの関心を高める取り組みや活動支援を行います。まちあるきや有識者を招いて今後のまちなみ・まちづくりを考える勉強会・シンポジウムの開催、公共空間を活用したにぎわいづくり等、様々な市民活動や継続的なまちづくりに展開していくことを目指します。



まちあるきの開催
(他都市の事例)

11) 情報発信、活動のPR

案内板・駒札を修復・強化し、地区全体のネットワークを構築することで、駅南周辺地区において来訪者（観光客）が楽しく散策・観光できる仕掛けづくりを行います。手軽にまちあるきを行うことができる、近年増えている観光アプリの活用も検討します。

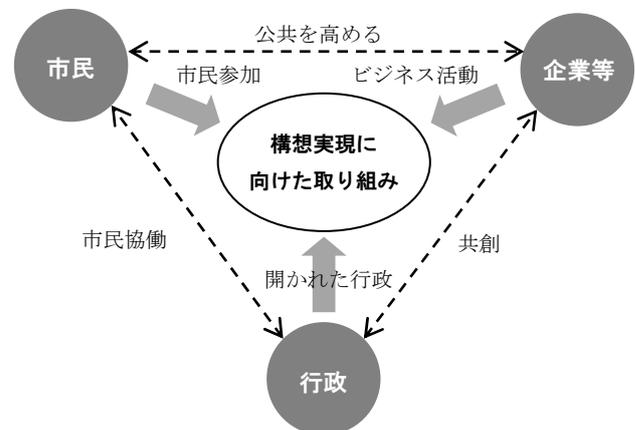
幅広い情報発信や活動のPRとして、歴史的資産や文化的資産等の地域の魅力、本構想に基づく施策の取り組み・活動など、まちなみ・まちづくりに関する内容を積極的に発信することを検討します。



現状の総合案内板

● 構想の実現にむけた推進体制

構想の実現は、行政の取り組みに加え、民間・市民の主体的で継続的な取り組みが不可欠です。行政と民間・市民の対話を通じて民間・市民が持つアイデアと力を存分に発揮し、それぞれが持つ資源やノウハウを活用することで、実現していくことを目指します。既存の官民連携の手法のみならず、今後検討していく新たな手法も含め、推進していきます。



お問い合わせ先：亀岡市 まちづくり推進部 都市計画課

TEL (0771)22-3131 (大代表)

ホームページアドレス <http://www.city.kameoka.kyoto.jp/>

● まちなみ・まちづくり構想図

<エリア別の方針>

- ・ 亀岡駅エントランスエリア >> 亀岡駅前から城下町エリアをつなぐエリアとして活気のある中心市街地
- ・ 城下町エリア >> 歴史的資産を継承しながら生活と観光の共存するまちづくり

凡例

旧山陰道	寺社	[丹波亀山城下町復元図との重ね合わせ]
都市計画道路	鉾蔵	武家地
町会区分	町家等	町人地
堀・河川池	堀・河川池	土居・段丘崖
	寺社地	

1) 亀岡駅南 駅前広場の機能性の向上
 自家用車とバスの混雑解消等、機能性の向上のため駅前ロータリーの改修を検討する。

2) 亀岡駅南 駅前通り・エントランスエリア全体のにぎわい創出
 亀岡駅北地区は土地区画整理事業等の新たなまちづくりが進んでいる一方、駅南は街のにぎわいが失われつつある。亀岡の玄関口としてふさわしい駅南の顔づくりを図る。

● 駅前通りの改修
 中央帯を撤去し駅前と城址方面がスムーズにつながるよう通景軸をつくる。道路構成を変更し歩道を拡幅することで歩行者が使いやすい通りとする。あわせて、景観に配慮し電線類地中化を検討する。

○ 道路空間の活用によるにぎわい創出例
 朝市、マルシェ、オープンカフェ等

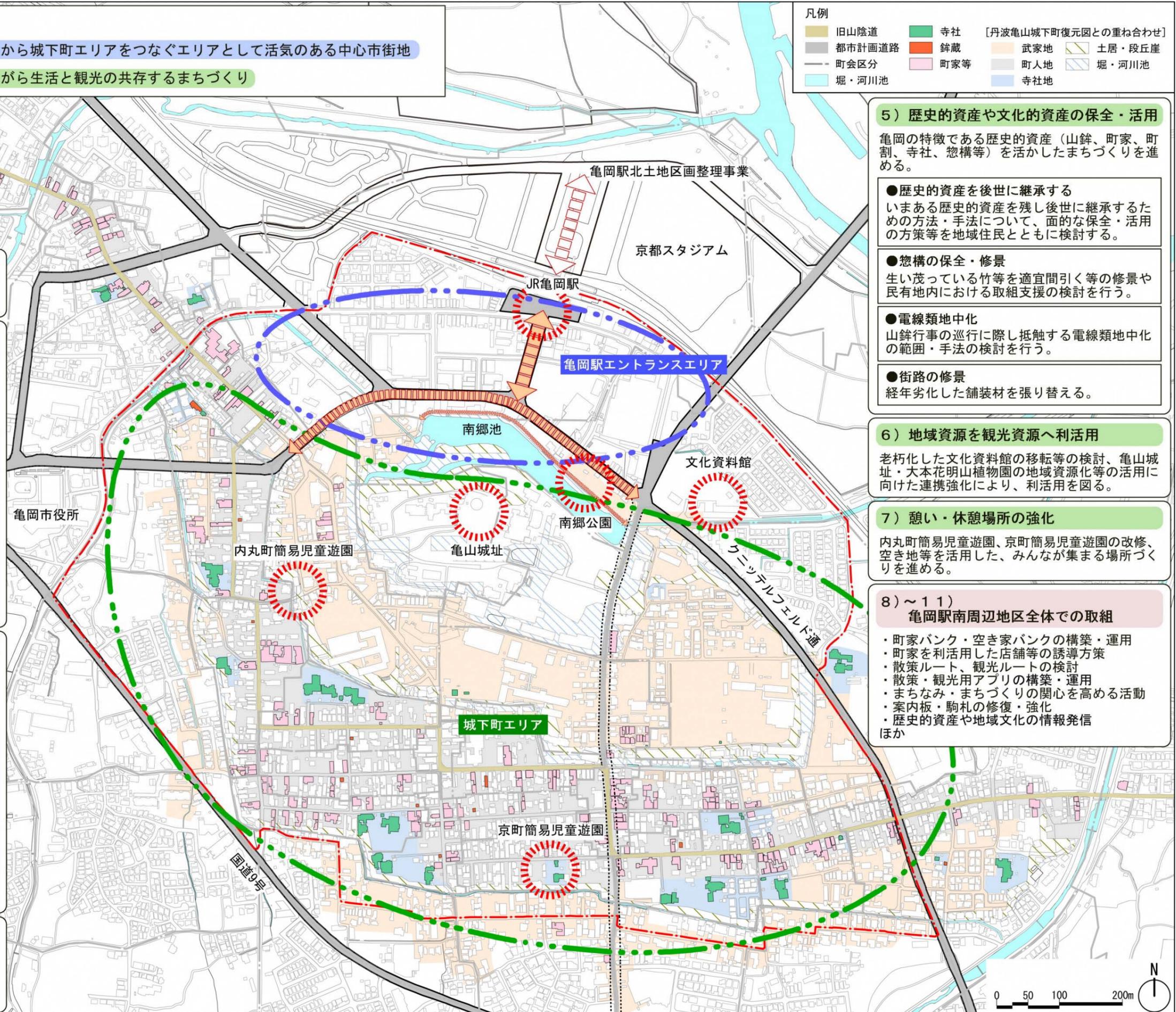
● にぎわいの創出
 中心市街地の活性化に向けた官民一体のにぎわい創出事業等について検討を行う。

3) 南郷公園・南郷池沿いの遊歩道の改修
 多くの市民が「好きな場所」として挙げた南郷公園・南郷池をより居心地がよく使いやすい場所にする事で地区のコミュニティの核となる場所とする。

● 南郷公園の改修
 舗装を芝生等に変え「座る」「寝そべる」「たたずむ」等、様々なアクティビティや遊び場として自然と立ち寄りたくなる空間づくりを検討する。

● 南郷池沿いの遊歩道の改修
 低木類を撤去し、南郷公園と南郷池の間の視認性を確保する。遊歩道沿いに足元灯を連続的に設けることで、夜間でも安心して歩ける場所にする。池への映り込みが特徴的な夜間景観を創出する。

4) エントランスエリアと城下町エリアをつなぐ歩行者空間の強化
 経年劣化している舗装材を張り替え、植栽樹を改修し歩道を拡げる。駅前通りの舗装デザインを基準に全体的に統一した雰囲気とする。



5) 歴史的資産や文化的資産の保全・活用
 亀岡の特徴である歴史的資産（山鉾、町家、町割、寺社、惣構等）を活かしたまちづくりを進める。

● 歴史的資産を後世に継承する
 いまある歴史的資産を残し後世に継承するための方法・手法について、面的な保全・活用の方策等を地域住民とともに検討する。

● 惣構の保全・修景
 生い茂っている竹等を適宜間引く等の修景や民有地内における取組支援の検討を行う。

● 電線類地中化
 山鉾行事の巡行に際し抵触する電線類地中化の範囲・手法の検討を行う。

● 街路の修景
 経年劣化した舗装材を張り替える。

6) 地域資源を観光資源へ利活用
 老朽化した文化資料館の移転等の検討、亀山城址・大本花明山植物園の地域資源化等の活用に向けた連携強化により、利活用を図る。

7) 憩い・休憩場所の強化
 内丸町簡易児童遊園、京町簡易児童遊園の改修、空き地等を活用した、みんなが集まる場所づくりを進める。

8) ~11) 亀岡駅南周辺地区全体での取組
 ・ 町家バンク・空き家バンクの構築・運用
 ・ 町家を利活用した店舗等の誘導方策
 ・ 散策ルート、観光ルートの検討
 ・ 散策・観光用アプリの構築・運用
 ・ まちなみ・まちづくりの関心を高める活動
 ・ 案内板・駒札の修復・強化
 ・ 歴史的資産や地域文化の情報発信ほか